シアトルホームステイプログラム体験記

◆S.N 様
ブローカーオーナーの視点で参加してきました。米国の不動産エージェント宅にホームステイし、現地の働き方と市場を体感しました。初日はシアトル・キングカウンティー不動産リアルター協会でオリエンテーションに参加し、夜はホスト宅でのホームパーティーに招かれ、現地の方と交流し楽しい時間を過ごしました。5〜6 件の物件を内覧し、MLS と連動した電子キーBOX やシューズカバーの文化、塗装仕上げの内装、複数の浴室、ガレージ・庭の重視など、日本との違いを実感し勉強になりました。今回のシアトルホームステイプログラムでは、市場特性を知る事、情報共有の密度やメンターコーチング制度の重要性を学びました。日本にはない制度や文化に触れ経験できてよかったです。

◆I.N 様
初めて訪れたシアトルは知識も先入観もなく訪問しました。緑が多く洗練された街並みに魅了されました。日本文化に詳しいホストと共に物件を 3 件内覧し、ダウンタウンでワインバー巡りやホストの友人との交流を楽しみました。翌日は、多様なスタイルのオープンハウスを見学しました。カークランドでの 2 億円規模の居住中物件では、自ら整えてステージングされた物件であることに驚き、日本との不動産文化の違いを実感しました。内覧中の家族をみて、家族全員の納得が難しい点は日本と共通だと感じました。
今回、ステージングやホスト宅を見学して感じたのは、アートを取り入れた生活をしており、それが全体的に街並みや街づくりに表れていると実感したところです。見て聞いて体験したことでシアトルの魅力を深く知り、ホストから学んだ前向きな姿勢や暮らし方は大きな学びがありました。実際に現地に行き体験することによって、自分だけが知りえた貴重な体験や経験が宝物になりました。

◆E.Y 様
私はホームステージャーとして本プログラムに参加し、ホストのジェニーが不動産取引とホームステージングを軸に 3 日間をアレンジしてくださいました。実際に目の当たりにすることでアメリカにおけるホームステージングの浸透率の高さ、不動産ビジネスの中でどのように価値を生んでいるかを具体的に理解できました。MLS を駆使して効率的に物件見学を組んでいただき、わずか 3 日間で 15 物件を見学できたことは、不動産×ホームステージングの戦略を比較・分析するうえで非常に有意義な経験でした。ホストの心温かいサポートのおかげで、英語に不安がありながらも安心して学びに集中できたことが印象的です。多国籍国家アメリカでは、完璧さよりも伝えようとする姿勢が信頼につながることを実感しました。これらの経験は大きな自信となり、その後の仕事の幅や視野を大きく広げています。不動産や空間ビジネスに携わる方であれば、得るものの多いプログラムだと実感しています。